

2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月13日

上場会社名 株式会社ドラフト 上場取引所 東
コード番号 5070 URL <https://draft.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役 (氏名) 荒浪 昌彦
問合せ先責任者(役職名) 上級執行役員 (氏名) 熊川 久貴 (TEL) 03-5412-1001
四半期報告書提出予定日 2024年5月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	2,777	74.6	302	—	289	—	185	—
2023年12月期第1四半期	1,590	63.8	△206	—	△212	—	△171	—

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 193百万円(—%) 2023年12月期第1四半期 △169百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	18.42	18.35
2023年12月期第1四半期	△17.09	—

(注) 2023年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	7,210	3,608	49.8
2023年12月期	7,465	3,475	46.3

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 3,590百万円 2023年12月期 3,457百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	0.00	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,000	53.6	480	—	470	—	310	—	30.87
通期	12,000	12.1	980	12.6	960	13.2	580	12.3	57.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期1Q	10,043,600株	2023年12月期	10,043,300株
② 期末自己株式数	2024年12月期1Q	一株	2023年12月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年12月期1Q	10,043,303株	2023年12月期1Q	10,040,008株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予測等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その記載内容を当社として保証するものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（以下、「当第1四半期」）におけるわが国経済は、コロナ禍の終焉による経済活動の正常化やインバウンド消費の増加等によって景気は緩やかな回復傾向となった一方、長期化するウクライナ情勢や中東における紛争、急速な円安の進行等、引き続き先々を見通し難い状況が継続いたしました。

当社グループは、インテリア・建築・プロダクト・ブランディングなど、デザインを軸に分野横断的な活動を行っており、特定の市場に属してはおりませんが、最も近接しているディスプレイ市場では、主要総合ディスプレイ企業が軒並み業績を伸ばしております。インテリアデザイン、建築デザイン等、デザインの力で空間に新たな価値を創出するニーズは高く、経済全体の先行き不透明感が高いものの、当第1四半期における当社グループを取り巻く経営環境は、概ね良好であったと考えております。

このような状況下、当社グループは、収益化と価値創造を循環させるプロジェクトタイプ戦略を基本方針としてデザイン事業に取り組んでまいりました。プロジェクトタイプ戦略とは、当社グループが実施するプロジェクトをレギュラープロジェクト（注1）、プロポーザルプロジェクト（注2）、リーディングプロジェクト（注3）の3つに分類し、特色の違う3つのプロジェクトの相乗効果で事業拡大のサイクルを生み出す取り組みです。世の中に新たなデザインの価値を提案する又は新たな事業の形を創り出す役割は、独自組織として設置している「山下泰樹建築デザイン研究所」が中心となって担い、リーディングプロジェクト又はプロポーザルプロジェクトとして事業化に取り組みます。リーディングプロジェクトやプロポーザルプロジェクトで得られた評価、知見及び成果はレギュラープロジェクトへ還元し、“新たな通常業務”として当社グループの収益基盤の強化と事業拡大を実現します。「山下泰樹建築デザイン研究所」の獲得した評価が次の業務を生み出す好循環は当社グループの業績にもあらわれており、当第1四半期の売上高は2,777百万円（前年同期比174.6%）となり、前年同期から大きく伸長いたしました。売上高を対象領域別にみると、「ディスプレイデザイン・建築デザイン・その他」が1,498百万円（同197.5%）、「オフィスデザイン・プロジェクトマネジメント・その他」が1,278百万円（同153.7%）となり、特定の領域に偏ることなく売上高が拡大しております。

売上高が大きく伸長した主な要因としては、当社グループのデザインに対する根強い需要に加え、四半期ごとの業績変動が平準化しつつあることがあげられます。これまで、当社グループの四半期ごとの売上高は、第1・第3四半期が低く、第2・第4四半期で増加する傾向にありました。特に第4四半期（10月～12月）へ売上高が偏る傾向があり、過去2年では通期売上高の4～5割が第4四半期に集中しております。このような状況は当社グループにとってリスクであるため、受注活動において四半期ごとの売上高の平準化に努めてまいりました。当第1四半期の売上高はこの成果が表れたこと、また、これに伴い履行義務の進捗度に基づき計上する売上高が増加したこと等により、一定程度の平準化が進んだものと考えております。

売上総利益は、売上高の増加に加えて間接原価等が減少したことで売上総利益率が上昇し、915百万円（同205.6%）となりました。また、販売費及び一般管理費は、人件費が微増したもののオフィス関連費用が大きく減少し（前年同期は本社オフィス移転関連費用を計上）、613百万円（同94.1%）となりました。この結果、営業利益は前年同期から508百万円増加し、302百万円となりました。営業外収益及び支払利息・為替差損等の営業外費用を加減算した経常利益は289百万円（前年同期から502百万円の増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は185百万円（同356百万円の増加）となりました。

※ 用語解説

- (注) 1. レギュラープロジェクトは、クライアントからの依頼により獲得する受注型プロジェクトで、当社グループの業績の基盤を形成しております。
2. プロポーザルプロジェクトは、レギュラープロジェクトとリーディングプロジェクトの中間に位置するもので、当社グループが自ら企画・提案し、場合によっては先行投資を行うプロジェクトです。受注型とは異なる収益モデルを実現いたします。
3. リーディングプロジェクトは、大規模な建築コンペティションや設計競技を通して挑戦するプロジェクトで、新たなデザイン領域を開拓し、当社グループの設計技術及びブランド価値を向上させる取り組みです。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、7,210,526千円となり、前連結会計年度末と比較して254,745千円減少いたしました。これは、主に現金及び預金が144,705千円、前払費用が498,936千円、建設仮勘定が421,000千円増加した一方、売掛金及び契約資産が1,233,412千円減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、3,602,036千円となり、前連結会計年度末と比較して387,631千円減少いたしました。これは、主に短期借入金が200,000千円、契約負債が413,770千円増加した一方、買掛金が940,260千円、未払法人税等が200,109千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、3,608,490千円となり、前連結会計年度末と比較して132,885千円増加いたしました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益185,018千円を計上したこと及び配当金の支払い60,259千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年2月13日の「2023年12月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,787,827	1,932,532
売掛金及び契約資産	3,690,486	2,457,073
商品	104,531	87,286
原材料及び貯蔵品	73,445	55,467
仕掛品	68,436	84,061
その他	149,904	620,707
流動資産合計	5,874,631	5,237,128
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	797,195	797,492
減価償却累計額	△112,107	△129,451
建物及び構築物（純額）	685,087	668,040
その他	375,184	806,831
減価償却累計額	△151,754	△168,991
その他（純額）	223,429	637,839
有形固定資産合計	908,517	1,305,880
無形固定資産		
のれん	145,409	129,253
ソフトウェア	18,821	15,962
ソフトウェア仮勘定	44,990	44,990
無形固定資産合計	209,221	190,205
投資その他の資産		
敷金及び保証金	367,126	364,375
繰延税金資産	49,194	56,512
その他	56,580	56,424
投資その他の資産合計	472,902	477,312
固定資産合計	1,590,640	1,973,398
資産合計	7,465,272	7,210,526

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,578,157	637,896
短期借入金	650,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	336,328	328,828
未払法人税等	322,467	122,358
賞与引当金	—	52,511
プロジェクト損失引当金	375	655
プロジェクト補償引当金	14,000	7,000
その他	278,299	869,679
流動負債合計	3,179,628	2,868,929
固定負債		
長期借入金	515,061	437,229
資産除去債務	294,978	295,877
固定負債合計	810,039	733,106
負債合計	3,989,667	3,602,036
純資産の部		
株主資本		
資本金	807,359	807,399
資本剰余金	787,359	787,399
利益剰余金	1,839,896	1,964,654
株主資本合計	3,434,615	3,559,453
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	22,948	30,996
その他の包括利益累計額合計	22,948	30,996
新株予約権	18,040	18,040
純資産合計	3,475,604	3,608,490
負債純資産合計	7,465,272	7,210,526

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	1,590,600	2,777,159
売上原価	1,145,283	1,861,740
売上総利益	445,316	915,419
販売費及び一般管理費	651,620	613,286
営業利益又は営業損失(△)	△206,303	302,132
営業外収益		
受取利息	5	7
保険解約返戻金	483	604
その他	586	222
営業外収益合計	1,075	834
営業外費用		
支払利息	3,849	5,699
支払手数料	907	861
為替差損	2,722	6,420
その他	22	—
営業外費用合計	7,502	12,981
経常利益又は経常損失(△)	△212,731	289,985
特別損失		
固定資産除却損	22,894	—
特別損失合計	22,894	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△235,625	289,985
法人税、住民税及び事業税	2,621	112,285
法人税等調整額	△66,688	△7,318
法人税等合計	△64,066	104,967
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△171,558	185,018
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△171,558	185,018

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△171,558	185,018
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2,285	8,047
その他の包括利益合計	2,285	8,047
四半期包括利益	△169,272	193,065
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△169,272	193,065

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(四半期貸借対照表)

当第1四半期会計期間より、従来、「工事損失引当金」及び「完成工事補償引当金」と表示していたデザイン事業に関連する科目名称を、より実態に即した表示とするため、「プロジェクト損失引当金」及び「プロジェクト補償引当金」に変更しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の貸借対照表において「工事損失引当金」に表示していた375千円を「プロジェクト損失引当金」375千円として、「完成工事補償引当金」に表示していた14,000千円を「プロジェクト補償引当金」14,000千円として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、デザイン事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。